

☆*****☆

ニッセイメール配信サービス（メルマガ）

【メルマガ内容】

DB基金（ ） DB規約（ ） DC（ ）
厚年基金（ ） 会計基準（ ） その他（○）

【タイトル】 2019年度の公的年金額引上げ・マクロ経済スライド発動を
公表／厚生労働省

☆*****☆

平素より当社社業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

厚生労働省は、2019年1月18日、2019年度の国民年金・厚生年金の年金額を、2018年度の年金額から0.1%引上げることを公表しました。

公的年金は、「物価（物価変動率）」「賃金（名目手取り賃金変動率）」に応じて年金額が改定されますが、「物価」「賃金」がともにプラスで、「物価」が「賃金」を上回る場合には、年金額の改定に「賃金（名目手取り賃金変動率）」を用いることとされています。

2019年度の年金額改定に用いる「物価」はプラス1.0%、「賃金」はプラス0.6%であるため、年金額の改定には0.6%を用います。加えて、マクロ経済スライドによる2019年度のスライド調整率▲0.2%、2018年度に繰越されたマクロ経済スライドの未調整分▲0.3%（※）により、年金額の改定率はプラス0.1%となりました。

■ 2019年度、年金額改定の参考指標

- ・「物価（物価変動率）」・・・・・・・・・・・・・・・・・・1.0%
- ・「賃金（名目手取り賃金変動率）」・・・・・・・・・・・・・・・・・・0.6%
- ・2019年度のマクロ経済スライドによるスライド調整率・・・・・・▲0.2%
- ・2018年度に繰越されたマクロ経済スライドの未調整分（※）・・・・▲0.3%

※2018年4月より、マクロ経済スライドによって前年度よりも年金の名目額を下げないという措置は維持した上で、未調整分を翌年度以降に繰越す仕組み（キャリーオーバー）が導入されました。

年金額の引上げ、およびマクロ経済スライドの発動は、2015年度以来4年ぶりとなります。

【2019年度の年金額（新規裁定者）（月額）】

国民年金 : 65,008円 (+ 67円)
厚生年金 : 221,504円 (+ 227円)

(注) 国民年金は、老齢基礎年金（満額）1人分
厚生年金は、夫婦2人分の老齢基礎年金を含む標準的な年金額
カッコ内は2018年度からの変動額

なお、2019年度の在職老齢年金の支給停止調整開始額、支給停止調整変更額、支給停止調整額についても公表されております。

【2019年度の在職老齢年金】

60歳台前半（60歳～64歳）の支給停止調整開始額 : 28万円（28万円）
60歳台前半（60歳～64歳）の支給停止調整変更額 : 47万円（46万円）
60歳台後半（65歳～69歳）と
70歳以降の支給停止調整額 : 47万円（46万円）

(注) カッコ内は2018年度の金額

厚生労働省プレスリリース（厚生労働省 HP）

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000191631_00003.html

～メルマガのバックナンバーを掲載しています～

<http://www.nenkin.nissay.co.jp/info/report.htm>

バックナンバーでは、過去の年金NEWS・メルマガに加え、マーケット情報等（Daily市場レポート、臨時市場レポート、第1特約運用状況）をご覧いただくことができます。

=====

日本生命保険相互会社

団体年金部

団体年金コンサルティンググループ

年金NEWS・基金照会窓口

TEL 03-5533-5572

FAX 03-5533-5228

E-mail kikinmadoguti@nissay.co.jp